

APNIC56参加報告

長崎県立大学
鬼塚俊佑

自己紹介

鬼塚俊佑

所属

長崎県立大学情報システム学部情報セキュリティ学科B4

専門

ネットワークセキュリティ

BGP

DNS

その他

JANOG NOCチームとか

来年からネットワーク系の部署で働きます！(多分)

働けたらいいな..

参加動機

- ・ 国内のことしか知らない
- ・ 来年から社会人
- ・ 世界で働きたい

- ・ 世界のことを知りたい
- ・ 今しか機会がないかも
- ・ インターネットが
作られていく様を見たい



セッション

Newcomers welcome

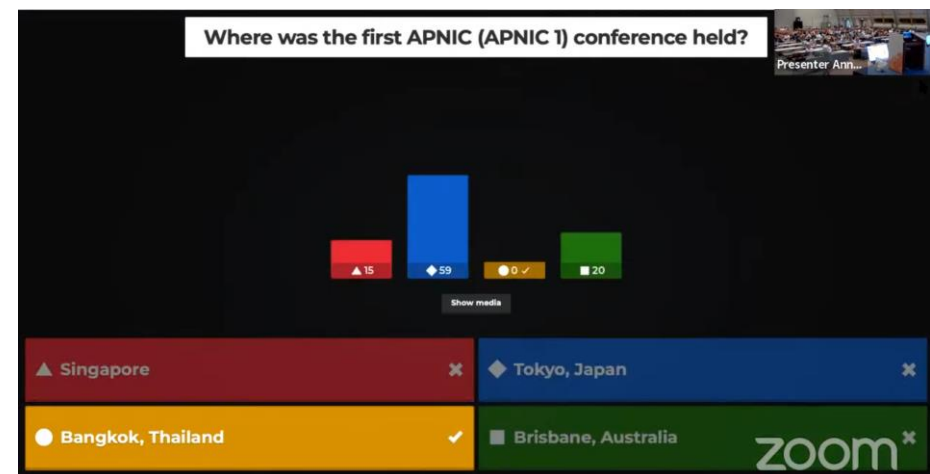
カンファレンスを成功させるためのTips

- ①繋がる為に準備
- ②セッション回りの計画を立てる
- ③目標を設定
- ④SNSを活用しよう



APNICクイズ大会

- ・ APNICについてよく知れた
- ・ APNICのビジョンは？
- ・ 参加国は？
- ・ APNIC1が開催された国は？ →



なんと正解者なし

APNIC 30th Anniversary Panel

今後数年間の課題は？

インターネットへの理解が遅れている

- ・ インターネットの理解者を増やすべき
- ・ 国の政策立案者が無理解だと混乱を招くよね
- ・ APNICには様々な政府に働きかけられる利点がある

負担が大幅増

- ・ 単にアドレスを払い出すだけじゃなくなった
- ・ RPKIの問題に24時間365日対応
- ・ 利害関係者が増えた



Open Policy Meeting

Prop-148 :アドレスリソースのリースの**禁止**



問題点

IPアドレスの又貸しはだめだよ
→どこからが又貸し？
→もう事業化しているんだけど

Prop-152 :IPv4アドレス分配サイズを
/23から/24へ**縮小**する提案

問題点

分配するIPの数減らすね
→未申請の資源管理者ID持ってるんだけど

Prop-154(IXP用途IPv4割り当てサイズの変更)は
IX用特殊IPがすでに枯渇している為日本では**影響なし**



国内外の参加者との交流

- ・ 普段関わることのない方々と話せた
- ・ (英語が出来ればもっと色々な人と話せたなあ)

インターネットの生きている姿を見られた

- ・ インターネットは人によって出来ていることを実感
- ・ (次来るときは発言出来るようになろう)

まとめ

人類として、
私たちは経験や歴史、文化を伝える為に生きている
そしてそれを支えているのは我々だ

～

我々が直面する問題は直接会って話し合うべきです
コミュニケーションは非常に重要です
組織はその背後にある人々なしでは何也不会あります。
組織は単なる人間なのです。 -Geoff Huston

